

アクセス



-  **新幹線・JRでのアクセス**
新山口駅下車、北口から直結。
【鳥取から】JR特急スーパーはくと→乗換→のぞみ号で約3時間50分
【松江から】JR特急スーパーおきで約3時間50分
【岡山から】のぞみ号で約1時間10分
【広島から】のぞみ号で約30分
-  **飛行機でのアクセス**
山口宇部空港から新山口駅行き直行バスで約30分
-  **自動車でのアクセス**
中国自動車道小郡JCT経由、山口宇部道路長谷ICから約1分

本日はご来場いただき
ありがとうございました

アンケートへの
ご協力をお願いします



第54回 日本PTA中国ブロック研究大会 やまぐち大会 大会誌

令和6年11月2日(土)発行

発行責任者

大会会長 松田 龍信
実行委員長 金子 賢二

事務局

第54回
日本PTA中国ブロック研究大会
やまぐち大会事務局
(山口県PTA連合会事務局内)

✉ cyexco@gmail.com

大会HP



第54回 日本PTA中国ブロック研究大会 やまぐち大会

開催日 令和6年11月2日(土) 会場 KDDI維新ホール
主催/中国ブロックPTA協議会・山口県PTA連合会 主管/山口市PTA連合会
後援/文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会・山口県・山口市・山口県教育委員会・山口市教育委員会

Contents



もくじ

スローガン・大会趣旨	01
当日スケジュール・式典式次第	02
主催者挨拶	03
祝辞	05
歓迎のことば	08
オープニングアトラクション	
内田温大・弘幸 父子ドラム演奏	09
ぼむぼむまろんず	10
◎実践発表	
山口市徳地地区PTA／徳地中、中央小、島地小、八坂小、串小、柚野木小 6校の絆! ～心を紡いだ 徳地の地から～	11
	<small>※串小、柚野木小は令和6年3月閉校</small>
山口市小郡地区PTA／小郡中、小郡小、上郷小、小郡南小 熟議が生みだす地域協働のマインド ～山口県の陸の玄関口 小郡発! 地域とつながる課題への挑戦～	13
萩市立萩東中学校PTA 地域とともに進める学校づくり ～萩東中学校PTAの取り組み～	15
◎記念講演	
「出張! ゴルゴ塾 命の授業」 講師: ゴルゴ松本氏	17
中国ブロック研究大会開催地一覧	19
会場席図	20
大会宣言(案)	21
(公社)日本PTA全国協議会「会旗」紹介	22
PTAの歌	23
大会役員・実行委員会	24



スローガン



大会趣旨

世界的パンデミックにより、世の中は大きく変化しました。新しい生活様式が提唱され、子どもたちの学校生活やPTA活動においても「今まで通り」が通じなくなりました。対面でのコミュニケーションの考え方が変化し、オンラインでのコミュニケーション手法が導入されるなど、時代の進化を実感する反面、子ども・保護者・教職員などの関係性は以前よりも希薄になってしまったことは否めません。

われわれの目的は、「家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与すること」です。PTA活動は「子どもたちのため」であり、「社会貢献」であることを自覚した上で、今一度、これまでの当たり前を見つめ直し、時代に即した方法を模索しながら、より良い活動を未来のためにつなぎ続けていくことが求められていると考えます。

本大会のスローガンは『つむぐ～未来(これから)の大人たちへ～』とさせていただきます。

「紡ぐ」という言葉は本来、繊維を引き出し、縫い(より)をかけて糸を作るという意味ですが、現代ではそこから転じて「思いを紡ぐ」「人を紡ぐ」「未来を紡ぐ」のように何かと何かを結びつけるという意味で用いられています。

本大会は未曾有の災禍を経た今だからこそ、過去からつむがれてきた歴史を、より良くした上で未来に託していくこと。学校行事やPTA活動を通じて、保護者と教職員の絆がつむがれていくこと。そして何より子どもたちを想う気持ちがつむがれていくことを願っています。つむがれた思いや絆は、必ず未来(これから)のためになると信じています。

当日スケジュール

12:00	12:45	13:00	13:40	14:40	14:50	16:20	16:30	16:40
受付	OP (15分)	開会式 (40分)	実践発表 (60分)	休憩 (10分)		記念講演 (90分)	次期 開催地 PR (10分)	閉会式 (10分)

式典式次第

開会行事	開会宣言	金子 賢二	日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会 実行委員長
	国歌斉唱		
	PTAの歌斉唱		
	主催者挨拶	松田 龍信	日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会 大会会長
	来賓祝辞	村岡 嗣政	山口県知事
		太田 敬介	公益社団法人 日本PTA全国協議会 会長
		繁吉 健志	山口県教育委員会 教育長
	歓迎のことば	伊藤 和貴	山口市長
	来賓紹介		
	祝電披露		
	表彰状贈呈	松田 龍信	日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会 会長
	[表彰状受賞者]	橋本 和博	前中国ブロックPTA協議会 会長
	[表彰状受賞者]	内海 知巳	前広島市PTA協議会 会長
	[表彰状受賞者]	長尾 志保	前鳥取県PTA協議会 事務局長
閉式のことば	神田 敏和	日本PTA中国ブロック研究大会 大会副会長 岡山県PTA連合会 会長	
謝辞	坂手 洋介	日本PTA中国ブロック研究大会 大会副会長 島根県PTA連合会 会長	
次期開催地PR	代表挨拶	栗川 文博	日本PTA中国ブロック研究大会 大会副会長 広島市PTA協議会 会長
閉会行事	大会宣言	高尾 裕子	日本PTA中国ブロック研究大会 大会副会長 鳥取県PTA協議会 会長
	感謝状贈呈	太田 敬介	公益社団法人 日本PTA全国協議会 会長
	閉式のことば	岩本 義樹	日本PTA中国ブロック研究大会 大会副会長 広島県PTA連合会 会長

主催者挨拶



中国ブロックPTA協議会 会長
日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会 会長
山口県PTA連合会 会長

松田 龍信
Tatsunobu Matsuda

このたび、自然と歴史が息づくまち、山口県山口市のKDDI維新ホールより、「つむぐ〜未来(これから)の大人たちへ〜」をスローガンに、第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会を開催します。2020年より世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスが5類となり、止まっていた学校行事をはじめ、地域行事そして地域のつながりが動き始めました。しかし、コロナ禍で止まっていた空白は、先達が一年一年積み上げ、築きあげていたものを探すところから始めなければならなかったところも多いのではないのでしょうか。毎年役員が入れ替わるPTAも同様だと思います。そんな中、やまぐち大会のテーマである「つむぐ」を主題にすることは大変意義深いことだと考えています。

PTAという組織が誕生してから半世紀以上が過ぎました。戦後の混乱の中から、さまざまな社会環境から子どもたちを守ろう、もっと充実した教育を受けさせたいと、先生と保護者の想いのもとで始まった活動は、その時々々の社会環境の変化により変化し続け、今もおよ一層の変化を求められています。地域は、少子高齢化に歯止めがかからず、子ども真ん中の政策を進めようとしています。裏腹にますます子どもに不寛容な社会へと進んでいるように感じています。我々PTAが、今必要としているのは、先人からの想いや地域の心をつむぎあげ、これからの未来に目を向けた活動です。

今回のやまぐち大会では、過去からつむぎあげられてきた様々な遺産を確認し、新しい未来に向けた活動として、保護者、先生方、そして地域の皆様と再確認できる場に、また子どもたちの未来を少しでも輝かしいものにするために支え合い、交流できる大会にしたいと考えております。

開催地の山口市は、室町時代に隆盛を誇った大内氏が築いた西京文化が息づき、明治維新胎動の地でもある、歴史にも彩られた大変魅力ある地です。また、地域連携の力を教育に注ぎ込むことを宣言している国内唯一の県である山口県で、実行委員の皆様と共に今大会では、多くの新たな提案をさせていただきます。変わらず大切にしたいもの、新しく切り開かねばならないもの、子どもたちのためにできる多くのことをご来場の皆様、オンライン視聴される皆様と共に交流したいと考えています。

大会に向けて、そして大会後の活動が、未来(これから)の大人たちにとって希望溢れるものになりうよう、中国ブロックのPTA一丸となってつむぎあげてまいりましょう。

主催者挨拶



日本PTA中国ブロック研究大会
やまぐち大会
実行委員長

金子 賢二
Kenji Kaneko

日々生活をする中で、例えばそこに募金箱を見つけたとしても、せいぜい小銭を入れる程度ではないでしょうか。ではもし飢餓に苦しむ子どもが目の前にいたらどうでしょうか。自分が何か力になれることはないかと思うのが心情だと思います。その違いは何かを考えた時に、目の前で起きている現実を自身の感性で捉えた「当事者意識」だと考えます。

今ではスマートフォンがあれば、いつでも世界中の人とコミュニケーションがとれ、家にいながらもあらゆる物が買える時代になりました。今ではそれが当たり前前の生活となっています。私が小中学生として過ごしてきた30年前と比べると圧倒的に便利な時代になり、物質的には豊かな時代であることは明白です。その反面で、少子高齢化や経済的不安などから「明日は今日より良くなる」と希望を持ちづらい現代社会であり、便利であるはずのスマートフォンは非対面接触や一方通行のコミュニケーションが増え、人間関係の希薄化につながるという側面もあります。

今、「子どもとしてこの時代を生きたいか」と問われたらどうでしょう。そのようなことを考えたりもしますが、良し悪しではなく、無用な思索であります。ただ一つ言えることは、今私は子を持つ親であり、いつの時代でも子どもの健やかな成長を願う親の気持ちは不変であると考えます。未来(これから)の大人たちのために、今この時代の課題に対して、当事者意識をもって、労を惜しまず最善を尽くすことが親としての責務であると考えます。戦後に発足したこのPTA活動も、当時の方が社会環境は決して良くはなかったはずで、それでも未来のためにと先人たちが対価を求めず汗を流し、子どもたちのためにと脈々とつむがれてきた意志がそこにはあったのだと考えます。時代の変化と共に社会環境は変わっていきますが、その意志は次世代へつむいでいくべきだと考えます。

末筆にはなりますが、第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会にご参集くださり誠にありがとうございます。心より御礼と歓迎を申し上げます。そして、本大会の開催にあたり、ご尽力を賜りました関係者の皆様にも厚く御礼を申し上げます。そしてなによりも本大会を山口市PTA連合会で主管させていただくにあたり、実行委員会に多くの前向きな意志を持ったメンバーが集い、貴重な機会を通じて多大なるご協力をいただいたメンバーの皆様へ感謝すると共に、本大会が皆様にとって、有意義な1日となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



山口祇園祭

祝辞



山口県知事
村岡 嗣政
Tsugumasa Muraoka

第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、皆様方の御来県を心から歓迎いたします。

また、皆様方には、平素からそれぞれの地域や学校において、青少年の健全育成や教育環境の整備など、活発なPTA活動を展開しておられることに対し、深く敬意と感謝の意を表します。

全国的に人口減少に歯止めがかからない中、その大きな要因である少子化を克服するため、国では、「こども未来戦略」に基づき、必要な対策を集中的に実施しており、本県においても、これまで以上に強い危機感を持って少子化対策の充実・強化に取り組んでいるところです。

とりわけ、親子で一緒に過ごす時間を増やすことで、子育ての楽しさや喜びを実感していただくとともに、こうした子育て中の方々が社会全体で応援する機運を高めていくことが重要と考え、今年度から「こどもや子育てにやさしい休み方改革」をスタートし、これを全県的に展開しています。

県内を見渡すと、未だ、子どもの行事等に合わせて休暇を取得しにくい雰囲気があり、こうした現状を改善するため、この改革では、子どものために休暇を取得することが当たり前となる社会に向けて、機運醸成や職場環境づくりのほか、休暇を家族と一緒に過ごせる仕組みづくりにも取り組んでいます。

県内の公立学校に通う子どもたちが、年に3日程度、休業日以外でも家族とともに、地域の史跡めぐりといった探究活動や農業体験などを企画・実施できる「家族でやま学の日」を新たに創設したところであり、親子で「やまぐちで学ぶ」、「やまぐちを学ぶ」ための活動を通じ、家族で過ごすことの楽しさを感じてもらうとともに、本県への愛着も深めていただきたいと思います。

こうした中、中国地区の小・中学校のPTA並びに教育関係者の皆様方が一堂に会され、「つむぐ〜未来(これから)の大人たちへ〜」のテーマのもと、PTA活動や学校、家庭、地域の連携・協働の在り方について様々な議論や意見交換が行われますことは、本県が目指す子育て環境づくりに向けても、誠に時宜を得たものであり、「こどもと子育てにやさしい社会づくり」につながるよう、大いに期待を寄せています。

山口県では、今年に入り、ニューヨーク・タイムズ紙の「2024年に行くべき52カ所」に山口市が選ばれるなど、観光面で明るい話題に溢れています。県内には、皆様の知的好奇心をかき立てる歴史や伝統、味わいたくなるグルメなど、多くの魅力があります。せっかくの機会ですので、どうか本県のこうした魅力を堪能していただきたいと思えます。

結びに、本日の大会を契機に、今後一層、PTA活動への取組に御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、中国ブロックPTA協議会並びに山口県PTA連合会の益々の御発展と、御参集の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝辞



公益社団法人日本PTA全国協議会
会長
太田 敬介
Keisuke Ota

第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会がKDDI維新ホールにおいて盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。本大会は「つむぐ〜未来(これから)の大人たちへ〜」を大会スローガンに、中国ブロック各県・市PTA協議会の会員並びに教育関係の皆様が、日々の活動の活性化に向けてさまざまな実践や情報を共有する大変貴重な場であり、子供たちの豊かな教育環境は、PTAを通じた学校、家庭、地域の連携と努力と貢献によって支えられ、それらは児童生徒の健全な成長と学びの場の充実に直結しており、その重要性は計り知れません。今日ここに集われた皆様、一堂に会し、学び合い、日々の課題解決に向けて意見交換することは、非常に有意義なことであり、この機会を最大限に活かし、今後のPTA活動に一層の成果を挙げられることを期待しております。

公益社団法人日本PTA全国協議会は、全国の公立小中学校の保護者と教職員から組織される日本で最大規模の社会教育関係団体です。子供たちの心身ともに健全な成長と福祉の増進を図り、家庭教育への学びを深め、もって社会の発展に寄与することを目的としています。

昨年、日本PTAは創立75周年を迎えました。歴史と実績を積み重ね、日本教育の民主化に大きな貢献を果たしてきました。これまで培ってきた先人たちのさまざまな努力が、今日の各教育制度につながっていることは決して忘れてはいけません。その一方で、社会の変化の速度はますます急激になり、加えて、物事の不確実性が高く、将来の予想が困難な時代だと言われています。そうした社会の中で必要とされるPTAであるために、私たちは問いを立て続け、変化を遂げていくことが求められています。

改めて、PTAはすべての保護者、教職員が「子供たちの幸せ」を真摯に願って続けてきた組織です。そしてこれからの時代、あわせて持たたい視点があります。それは「私たち自身も、保護者として、教職員として、幸せでありたい」ということです。優しさ、寛容さ、支え合いを通して、一人ひとりが幸せを実感でき、その延長線上に暮らしやすい地域があるということ、それこそがPTAの、社会教育の目指す姿だと考えます。

結びに、本大会が今後のPTA活動の活性化につながり、それらが子供たちの豊かな教育環境の充実、幸せ、笑顔につながりますことを心より願っております。また、開催にあたりこれまでご尽力いただきました山口県PTA連合会、中国ブロックPTA協議会、山口市PTA連合会、山口県教育委員会、山口市教育委員会、その他関係の皆様方に心より敬意と感謝を表しますとともに、全国のPTAが一層の発展を遂げることをお祈り申し上げ、あいさついたします。



鷺舞(山口祇園祭)

祝辞



山口県教育委員会
教育長

繁吉 健志

Takeshi Shigeyoshi

第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会が、中国地区各地から多数の皆様のご御参加のもと盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、皆様方には、平素からそれぞれの学校・地域におけるPTA活動を通じて、次代を担う子どもたちの健全育成に献身的に御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意と謝意を表します。

人口減少・少子高齢化の更なる加速やグローバル化の進展に加え、生成AIの出現に象徴される急速な技術革新化など、想定を上回る速度で社会が変化し、将来の予測が困難な時代を迎えています。

このため、山口県では、本県教育を取り巻く社会状況などを踏まえ、今後5年間の本県教育の指針となる、新たな「山口県教育振興基本計画(2023~2027年度)」を昨年10月に策定し、現在、「コミュニティ・スクールの連携・協働体制」と「一人一台タブレット端末などが整備されているICT環境」という本県の強みを最大限に生かして、諸施策を積極的に展開しているところです。

とりわけ、「コミュニティ・スクールの連携・協働体制」については、コロナ禍で停滞した地域連携教育の再加速に向け、学校と家庭、地域社会の新たな協働体制を構築していくことが必要となることから、PTAをはじめ、地域の関係団体の御協力をいただきながら、小・中学校から高等学校まで切れ目のない取組の推進を図っています。

申し上げるまでもなくPTAは、学校と家庭、地域の架け橋であり、社会総がかりによる教育を推進していく上で、皆様の役割はこれからますます重要になってまいります。

このような中、中国地区の小・中学校のPTA関係者、教育関係者が一堂に会され、今日的な課題について協議されますとともに、会員相互の情報交換が行われますことは、誠に意義深いものであると存じます。今後、それぞれの県や地域における実践活動として実を結びますよう、大いに期待しています。

結びに、本研究大会の開催に当たり、御尽力いただきました中国ブロックPTA協議会並びに山口県PTA連合会をはじめ、関係の皆様方に感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のますますの御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

歓迎のことば



山口市長

伊藤 和貴

Kazuki Ito

この度、「第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会」が、ここ山口市において、盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、各県からお越しになられた皆様を心から歓迎いたします。

PTA会員の皆様におかれましては、平素から、PTA活動を通じて、児童・生徒の健全育成に多大なる御尽力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

本市におきましては、まちづくりの指針であります「第二次山口市総合計画後期基本計画」において、取り組むべき重点プロジェクトに「子ども・子育て全力応援のまちづくり」を掲げ、子育てをしながら活躍することができる環境づくりや、子どもや子育て世代が暮らしやすい生活環境づくりを進めているところでございまして、子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域を結ぶ架け橋としての役割を担っておられるPTAへの期待は、ますます高いものとなっております。

こうした中、本大会は、「つむぐ〜未来(これから)の大人たちへ〜」のスローガンのもと、中国地方各地からお越しのPTA会員の皆様、ここ山口の地に一堂に会し、未来を担う子どもたちのために、記念講演や実践発表、意見交換などを通して、皆様自身の学びを深められますとともに、お互いに交流を深められますことは、誠に意義深いことと存じます。

さて、皆様も御承知のとおり、本年1月に、ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52か所」に本市が選出され、その中で「国宝瑠璃光寺五重塔」に代表される西の京としての歴史的な文化や、美肌の湯としても有名な「湯田温泉」など、本市の魅力が国内外に広く紹介されております。その反響も大きく、本市への注目度も高まっておりまして、このような時期に皆様をお迎えできますことは大変嬉しく、ぜひ皆様には、この機会に山口市の魅力を存分に満喫いただければと思います。

結びに、本大会が御参加の皆様にとりまして、実り多きものとなりますことを大いに期待いたしますとともに、中国ブロックPTA協議会、山口県PTA連合会、山口市PTA連合会の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



山口サビエル記念聖堂

オープニングアトラクション

内田温大・弘幸 父子ドラム演奏



内田 温大
Haruto Uchida

2012年山口市に生まれ、8歳からパーカッションを始める。現在は山口市立小郡南小学校吹奏楽部、山口ウインドオーケストラでの活動と併用し、県内外のソロコンクールに出場。2024年の主な受賞歴として、日本ジュニア管打楽器コンクール金賞受賞。EXCEED打楽器コンクール最優秀賞・審査員特別賞受賞。山口県学生音楽コンクール金賞受賞。今後も様々な曲に挑戦し、自身の技術と表現力を向上させ、より多くの観客に感動を与える演奏者になる事を目標にしている。



内田 弘幸
Hiroyuki Uchida

1981年防府市に生まれ、8歳からパーカッションを始める。現在、山口ウインドオーケストラとしての吹奏楽演奏活動の他、basquiatのドラマーとして県内外での演奏活動を行っている。アメリカのバンドTAKENのトリビュートアルバムに参加し、来日ツアーでは東京公演でのサポートを務める。フランスのバンドIn Other Climesとのコンピレーションアルバムを制作。演奏活動の他、パーカッション講師として複数の学校に対してレッスンをしている。



ぽむぽむまるんず from CRUNK DANCE STUDIO



山口県宇部市のダンススタジオ「CRUNK DANCE STUDIO」に所属する宇部市、周南市の中学生4名、高校生1名で構成されたダンスチーム。昨年、神奈川県で開催されたキッズダンスの全国大会「DANCE CHANNEL ALL JAPAN CHALLENGE CUP 2023 全国大会FINAL」の中学生チーム部門で全国優勝を飾ったほか、数々の全国規模の大会で輝かしい成績を残している。現在も全身を使ったステージパフォーマンスで見ると魅了し続けている。

[メディア・報道 掲載]

- ◎中国新聞、毎日新聞、宇部日報、山口新聞
- ◎NHK-情報維新山口
- ◎yab-Jチャンネル
- ◎シティケーブル周南
- ◎名古屋テレビNEXT-ダンスチャンネル
- ◎テレビ新広島-TSSライク!

主な受賞歴

- ★HEAD HUNTER2023 FINAL 決勝大会 優勝
- ★DANCE CHANNEL ALL JAPAN CHALLENGE CUP2023 全国大会FINAL 全国決勝大会 中学生チーム部門 優勝
- ★DANCE CHANNEL ALL JAPAN SUPER KIDSダンスコンテスト全国決勝大会出場 ファイナリスト 他多数

実践発表

山口市徳地地区PTA

徳地中、中央小、島地小、八坂小、串小、柚野木小 ※串小、柚野木小は令和6年3月閉校

テーマ

6校の絆!

～心を紡いだ 徳地の地から～

[発表者] 徳地中学校PTA会長 友景 太一 / 徳地中学校PTA副会長 小林 英彦(旧・串小学校PTA会長)

発表団体の概要 / 徳地地区PTA

徳地中学校	平成18年4月1日開校	創立19年	生徒数 / 120名(家庭数 101)
中央小学校	昭和47年4月1日開校	創立51年	児童数 / 54名(家庭数 39)
島地小学校	明治7年7月2日開校	創立150年	児童数 / 16名(家庭数 13)
八坂小学校	明治7年5月10日開校	創立150年	児童数 / 22名(家庭数 16)

※生徒数、家庭数はいずれも令和6年9月現在

徳地地区小中一貫教育

教育目標

笑顔あふれる徳地っ子を育てる

めざす地域の姿

みんな大好きふるさと徳地

～地域で協力し 交流の絶えない住みやすい徳地～

めざす子どもの姿

まわりの人を大切にする子

自分を大切にする子

ふるさとを大切にする子



レクリエーション大会(徳地地区PTA)



しめ縄作り(中央小)



カヌー体験(島地小)



イルミネーション取付け(八坂小)

徳地地区PTA(徳地中学校・中央小学校・島地小学校・八坂小学校)は、小中一貫の共通教育目標として「笑顔あふれる徳地っ子を育てる」を掲げ、地域との交流、協力を通して「まわりの人を大切にする子」「自分を大切にする子」「ふるさとを大切にする子」の育成をめざしています。

徳地地域では少子化が急速に進んでおり、令和6年3月には同地域にあった串小学校と柚野木小学校の2校が閉校となりました。子どもたちを取り巻く環境においては、通学手段、複式学級での学習など、様々な課題が山積しはじめ、これらが子どもたちに与える影響が懸念されています。

しかし、そんな逆風をものともせず、徳地地区PTAはみんなで「徳地っ子」を育てようという愛情を強くもつことで結束し、学校・家庭・地域が連携、協働しながら、徳地地域ならではの活動を展開しています。

子どもを大切に思う気持ちが生んだ、垣根を超えた「徳地っ子」育成の様々な活動を紹介합니다。



実践発表

山口市小郡地区PTA

■小郡中、小郡小、上郷小、小郡南小

テーマ

熟議が生みだす地域協働のマインド

～山口県の陸の玄関口 小郡発!地域とつながる課題への挑戦～

[発表者]小郡小学校PTA会長 川越 亮義/小郡小学校PTA副会長 藤井 麻弥

概要

山口市立小郡中学校	開校/昭和22年5月 生徒数685名(家庭数:637)
[学校教育目標]	ふるさと小郡を愛し、心身ともに健全な生徒の育成 ～チーム小郡「感謝」と「感動」～
山口市立小郡小学校	開校/明治6年1月 児童数417名(家庭数:321)
[学校教育目標]	夢に向かってともに高め合う小郡っ子の育成
山口市立上郷小学校	開校/昭和56年4月 児童数460名(家庭数:326)
[学校教育目標]	自分が好き 友だちが好き 明日にはばたく上郷の子
山口市立小郡南小学校	開校/平成4年4月 児童数563名(家庭数:430)
[学校教育目標]	高い知性と豊かな情操の調和のとれた心身ともにたくましい児童を育成する

※生徒数、家庭数はいずれも令和6年4月現在

山口市小郡地域について

- 3つの小学校があり、すべて同じ中学校区となる。
- 小郡中学校区地協育ネット[OKネット]などで、地域と協力しながら連携をはかっている。

熟議とは?

様々な立場の人が熟慮して本音をぶつけ、課題発見から解決に向けた議論を行うこと。
小郡地域での課題共有や解決のため、子どもたちを含めた合同熟議の実施を検討した。



4校での課題共有・解決に向けての取り組み

■ 2024年2月

[OKネット]

小郡中学校生徒会より小中合同あいさつ運動の提案。OKネット内で熟議。

■ 2024年6月

[小郡中学校主催]

小中合同あいさつ運動の実施

小郡中学校の生徒が地域のあいさつ運動に合わせて出身の小学校で実施。PTAも参加。



■ 2024年7月

[PTA]

- ◎ 小郡地域小・中学校拡大大学校運営協議会内で4校合同熟議
- ◎ テーマ「あいさつであふれる小郡地域にするために」
- ◎ 熟議前にあいさつに関するアンケートを実施。
- ◎ 各小学校に「小・中学生」「小・中PTA」「学校運営協議会委員」「教職員」が集まり、各テーブルで話した後、各学校内をネットですたいでハイブリッド形式で発表・意見交換。

■ 2024年8月以降

[PTA]

熟議の内容を共有し、今後の活動に取り組んで行く。





足湯(湯田温泉)

実践発表

萩市立萩東中学校PTA

テーマ

地域とともに進める学校づくり ～萩東中学校PTAの取り組み～

[発表者]萩東中学校PTA会長 西川 仁了/萩東中学校PTA副会長 井町 弘恵

発表校情報

萩市立萩東中学校	◎開校/平成9年4月	◎生徒数/435名(家庭数 388)
◎校章 	◎校訓 「至誠」	◎学校教育目標 ふるさと萩を愛し、志に生きる

※生徒数、家庭数はいずれも令和6年7月現在

めざす生徒像

ひたむき

強くたくましく、
主体性をもって
粘り強く取り組む生徒

ぬくもり

明るく誠実で、
勇気をもって
仲間を大切にす生徒

さわやか

深く考え、
正しく判断し、
志を抱く生徒

本校は、山口県北部、萩市の市街地に位置し、昭和22年5月に萩市立萩第一中学校として開校。その後は、市内の中学校の再編統合により、萩東中学校と名称を変更し、現在に至っており、全校生徒435名の萩阿武地域の中心校です。
本校PTAは生徒の教育活動に対して、学校・家庭・地域が連携しサポートする体制が整っており、PTAのOBで組織する「てごの会」の強力なサポートも頂きながら、効率的で効果的な運営に取り組んでいます。
今後も、これまでの事業を継承しつつ、生徒・学校・地域のニーズに沿い、協力も得ながら子どもたちの成長の一助となる活動を行っていききたいと思います。
特徴的な活動としては、保護者同士の交流の場である「ほごしゃカフェ」の開催やキャリア教育の一環で実施している「高校生との熟議」では、中高生の話し合いに参画しております。
このような取り組みを含め、本校PTA活動について紹介します。



ほごしゃカフェ

子育てや思春期ならではの子どもの関わり方など、様々なことを保護者同士で気軽に話せる場として学期ごとに開催しています。



ユニット型研修

生徒のグループに学校運営協議会委員が入り、生徒とともに考え学習する機会を設けています。



「てごの会」による花生け

「てご」とは手伝いや手助けを意味する方言で、PTAのOBやOGで組織しており、花生けのほか、校内の環境整備や学校の困りごとに協力していただきます。



PTA総会

萩東中PTAには、生徒活動を支援する組織があります。今年度のPTA総会で部活動の各部代表を紹介している様子です。

夏柑ネット推進協議会



はぎぼん

萩東中校区の地域協育ネットの名称で、「地域の子どもは地域で育てる」の合言葉のもと活動しております。これは、会のマスコット「はぎぼん」です。

記念講演

「出張! ゴルゴ塾 命の授業」



タレント・お笑い芸人
ゴルゴ松本氏
(ワタナベエンターテインメント所属)

- ◎1967年4月17日生まれ(57歳)
- ◎出身地:埼玉県花園町(現深谷市)
- ◎埼玉応援団「コバトン倶楽部」、
2014年より「深谷市親善大使」として活動
- ◎趣味:ゴルフ、競馬、漢字、歴史、読書

高校時代は埼玉県立熊谷商業野球部に所属し、第57回選抜高等学校野球大会(85年春のセンバツ)に出場。1994年にレッド吉田とお笑いコンビ「TIM」を結成。2011年から少年院でボランティア講演の活動をスタート。「命」など漢字を体で表現するギャグでおなじみのゴルゴ松本が漢字の話、歴史の話など笑いを交えながら、「命」「言葉」「人生」「日本人」などをテーマに魂のこもった熱い授業を展開。その活動がTBS「金スマ」「ノンストップ」日本テレビ「スッキリ」、その他新聞・雑誌等で取り上げられ大きな反響を生みました。また放送された番組は、Yahooの急上昇ワードにトレンド入り、YouTubeでは200万を超える再生回数を記録するなどネットでも話題に。2014年12月には法務省東京矯正管区から表彰。2018年11月には法務省より特別支援官に任命。

著書:「あっ!命の授業」(廣済堂出版)
あっ!命の漢字ドリル (プレジデント社)
「命」の相談室 僕が10年間少年院に通って考えたこと (中央公論新社) など



やまぐち富士商ドーム(山口きらら博記念公園)

中国ブロック研究大会開催地一覧

回	開催年月日	開催県(市)	開催地	回	開催年月日	開催県(市)	開催地
1	1972(昭和47年)	2/7~8	中国ブロック会議(広島)	31	2001(平成13年)	10/25~26	広島市 広島市
2	1972(昭和47年)	11/21~22	山口県 萩市	32	2002(平成14年)	11/1~2	岡山県 鏡野町
3	1973(昭和48年)	11/14~15	岡山県 岡山市	33	2003(平成15年)	11/8~9	島根県 浜田市
4	1974(昭和49年)	11/16~17	島根県 松江市	34	2004(平成16年)	11/12~13	広島県 東広島市
5	1975(昭和50年)	11/27~28	鳥取県 米子市	35	2005(平成17年)	11/12~13	鳥取県 倉吉市
6	1976(昭和51年)	12/1~2	広島市 広島市	36	2006(平成18年)	11/18~19	山口県 周南市
7	1977(昭和52年)	11/24~25	山口県 山口市	37	2007(平成19年)	11/9~10	広島市 広島市
8	1978(昭和53年)	11/25~26	岡山県 岡山市	38	2008(平成20年)	11/7~8	岡山県 笠岡市
9	1979(昭和54年)	11/22~23	島根県 松江市	39	2009(平成21年)	11/7	島根県 松江市
10	1980(昭和55年)	11/6~7	鳥取県 鳥取市	40	2010(平成22年)	11/13	鳥取県 米子市
11	1981(昭和56年)	11/25~26	広島県 福山市	41	2011(平成23年)	8/26~27	広島県 広島市他
12	1982(昭和57年)	11/25~26	山口県 徳山市	42	2012(平成24年)	11/18	山口県 下関市
13	1983(昭和58年)	11/24~25	岡山県 岡山市	43	2013(平成25年)	11/9	広島市 広島市
14	1984(昭和59年)	11/8~9	広島市 広島市	44	2014(平成26年)	11/8	岡山県 玉野市
15	1985(昭和60年)	11/7~8	島根県 出雲市	45	2015(平成27年)	11/8	島根県 出雲市
16	1986(昭和61年)	11/6~7	鳥取県 米子市	46	2016(平成28年)	11/12	鳥取県 鳥取市
17	1987(昭和62年)	11/17~18	山口県 下関市	47	2017(平成29年)	11/11	広島県 福山市
18	1988(昭和63年)	11/17~18	広島県 呉市	48	2018(平成30年)	11/10	山口県 岩国市
19	1989(平成元年)	11/16~17	岡山県 倉敷市	49	2019(令和元年)	11/2	広島市 広島市
20	1990(平成2年)	11/6~7	広島市 広島市	50	2020(令和2年)	11/7	岡山県 総社市
21	1991(平成3年)	11/8~9	島根県 松江市	51	2021(令和3年)	11/6	島根県 益田市
22	1992(平成4年)	11/5~6	鳥取県 倉吉市	52	2022(令和4年)	11/12	鳥取県 倉吉市
23	1993(平成5年)	11/5~6	広島県 庄原市	53	2023(令和5年)	8/25~26	広島県 広島市他
24	1994(平成6年)	11/4~5	山口県 萩市	54	2024(令和6年)	11/2	山口県 山口市
25	1995(平成7年)	11/7~8	広島市 広島市	55	2025(令和7年)	8/2	広島市 広島市
26	1996(平成8年)	11/8~9	岡山県 玉野市				
27	1997(平成9年)	11/7~8	島根県 出雲市				
28	1998(平成10年)	10/23~25	鳥取県 鳥取市他				
29	1999(平成11年)	11/13~14	広島県 尾道市				
30	2000(平成12年)	11/10~11	山口県 宇部市				

会場席図

ステージ

聴覚障がい者席

来賓関係者席

岡山県

鳥取県

広島市

運営スタッフ

カメラエリア

広島県

山口県

山口県

※2階席(17例~28列)にお座りいただく方へ
撮影に影響がでるため撮影中の移動は出来るだけご配慮頂きますようお願いいたします

1,2階出入口

3,4階出入口

注意事項

- 出来るだけ前から詰めてお座りください
- 携帯電話、スマートフォン等は音が出ないようにご配慮ください
- 体調不良の時はお近くのスタッフにお声掛けください

禁止事項

- ホール内での飲食
- 記念講演の写真撮影、録画及び録音等



山口市菜香亭



常栄寺雪舟庭

大会宣言 (案)

過去からつむがれてきた歴史を、より良くした上で未来に託していく。

「つむぐ^{これから}～未来の大人たちへ～」のスローガンのもと、

明治維新ゆかりの地である山口に集い、

第54回日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会を開催いたしました。

現在、PTA活動のあり方や求められ方も多様化しています。

そのような中で、時代は変われども、利他の心や情熱をもって取り組み、真摯な姿勢で、

楽しく活動する親の背中こそ、子どもに見せるべき姿であり、

^{これから}未来の大人たちへつむがれていくべきものだと考えます。

「おもしろきこともなき世をおもしろく

住みなすものは心なりけり」

PTA活動の目的を理解し、能動的な活動を推進すること。

家庭・学校・地域が連携し、積極的な活動を推進すること。

そして、^{これから}既成概念に捉われず、未来を担う子どもたちと共に

躍動的な活動を推進することを宣言致します。

令和6年11月2日

第54回 日本PTA中国ブロック研究大会
やまぐち大会

(公社) 日本PTA全国協議会 会旗



公益社団法人 日本PTA全国協議会

(公社) 日本PTA全国協議会「会旗」について

昭和30年11月の機関誌「日本PTA」に公表された

この会旗は「常に変らぬ豊かな心」を意味する緑を地色とし、

中のデザインは子どもを真中にして、親と教師が両脇から互いに手をくみ合っ

て心身ともに健康なたくましい信頼される子どもに育てていこうとする

愛情と意志を表明したもので、PTAの未来の姿を表している。

囲りの16弁の花は日本のシンボルでもある菊の花を表している。

原図は東京芸術大学講師小山清男氏によるものである。



新山口駅



長門峡

PTAの歌

P T A の 歌

春日紅路・作詞／西條八十・補作詞／古関裕而・作曲／宮本 一・編曲

はるかぜそよそよふくまどに ことりもくるくるとんでくる
あかるいまーどーよ ほほえむかおよ
さくらのーはなさくはるのうたー
みんなでいっしょにうたおうよ

1. 春風そよそよ 吹く窓に
小鳥もくるくる とんで来る
明るい窓よ ほほえむ顔よ
さくらの花咲く 春の唄
みんなでいっしょに うたおうよ
2. みどりに輝く 学校が
明るい家庭を よんでいる
希望の町よ 希望の村よ
文化の光に 手をのべて
子どもといっしょに 進もうよ
3. あふれる力に 健康に
子どもがよんでる おどってる
みよりの秋よ もみじの丘よ
こころも楽しいハイキング
子どもといっしょに おどろうよ
4. 世界を結んだ 大空に
ひびいて子どもの 胸が鳴る
あしたの鐘よ 夕べの鐘よ
平和で住みよい 日本を
みんなでいっしょに つくろうよ

大会役員

大会会長	松田 龍信	山口県PTA連合会	会長
大会副会長	栗川 文博	広島市PTA協議会	会長
大会副会長	神田 敏和	岡山県PTA連合会	会長
大会副会長	坂手 洋介	島根県PTA連合会	会長
大会副会長	高尾 裕子	鳥取県PTA協議会	会長
大会副会長	岩本 義樹	広島県PTA連合会	会長
委員	下條 孝志	広島市PTA協議会	副会長
委員	野口 一成	岡山県PTA連合会	副会長
委員	白根 俊彦	島根県PTA連合会	副会長
委員	藤原 実男	鳥取県PTA協議会	副会長
委員	磯道 忠男	広島県PTA連合会	副会長
委員	溝口 憲治	山口県PTA連合会	副会長
委員	戸井 美香	広島市PTA協議会	事務局長
委員	森岡 史麻	岡山県PTA連合会	事務局長
委員	三代 喜政	島根県PTA連合会	事務局長
委員	徳田 めぐみ	鳥取県PTA協議会	事務局長
委員	武川 彰	広島県PTA連合会	事務局長
委員	辻本 千夏	山口県PTA連合会	事務局長

実行委員会

実行委員長	金子 賢二	山口市立大蔵小学校
副実行委員長	佐伯 弘明	山口市立白石中学校
副実行委員長	上田 周治	山口市立小郡中学校OB
副実行委員長	山下 鉄旨	山口大学教育学部附属山口中学校
副実行委員長	岡田 純	山口市立湯田小学校
事務局長	松原 真奈美	山口市立白石中学校OG
事務局長	山本 洋子	山口市PTA連合会事務局